

## 2019年度（第64期）事業計画

### 1. 行事予定

行 事 名	期 日	場 所	摘 要
日中トライボロジー先端フォーラム	2019. 4. 12-14	中国 成都	第10回
トライボロジー会議 2019 春 東京	2019. 5. 20-22	東京	
第63期定時社員総会・特別フォーラム	2019. 5. 20	東京	
2018年度評議委員会	2019. 5. 20	東京	
トライボロジー入門講座	2019. 6. 20-21	東京	第50回
日本—台湾トライボロジーシンポジウム	2019. 9. 15-16	岩手	第3回
International Tribology Conference Sendai 2019 (ITC Sendai 2019)	2019. 9. 17-21	宮城	
トライボロジー入門西日本講座	2019. 9. 26-27	兵庫	第12回
トライボロジー秋の学校	2019. 10. 10-11	愛知	第10回
トライボロジー応用講座（設計編）	2019. 10 月予定	東京	第1回
トライボロジー応用講座（実験・計測編）	2019. 11 月予定	東京	第1回
トライボロジー国際技術交流会	2019. 11 月予定	タイ バンコク	第5回
トライボロジー先端講座	2019. 12 月予定	東京	第65回
トライボロジー懇談会	2020. 1 月予定	東京	第456回

### 2. 会 誌

会誌を毎月発行する。特集は「トライボロジーWho's Who 2019 企業版」, 「摩耗研究会50年の歩みと摩耗研究の変遷」, 「鋼用表面処理の基礎知識と最新動向」, 「身の回りのトライボロジー(4)」, 「潤滑しない潤滑油」, 「ウェブハンドリングのトライボロジー」, 「濡れ・脱濡れのトライボロジー」, 「トライボロジーを切り拓く新しい計測・分析技術」, 「半導体製造にかかわるトライボロジー」, 「研究会がリードするトライボロジー分野の最新動向」, 「環境に配慮した潤滑剤の最新技術動向」, 「自動車の電動化にかかわるトライボロジー」を計画している。Tribology Onlineでは、通常の年間4号発行に加え、ITC Sendai 2019特集号を計画している。

### 3. 研 究 会

次の活動を計画している。

(学会指定研究会) 新領域・新分野開拓研究会

(産学協同研究会) 添加剤技術, 固体潤滑, グリース, 転がり軸受寿命

(会員提案研究会) エンジン潤滑, 転がり疲れ, シール, 鉄道のトライボロジー, ファイル記憶のトライボロジー, 摩耗, メンテナンス・トライボロジー, 塑性加工のトライボロジー, トライボケミストリー, 自動車のトライボロジー, アルミニウムのトライボロジー, 高分子材料のトライボロジー, “超”をを目指す軸受技術, スペーストライボロジー, 分子シミュレーションのトライボロジーへの応用, 変速機のトライボロジー, 機能性コーティングの最適設計技術, テクスチャリング表面のトライボロジー, 境界潤滑, 工作機械のトライボロジー, トライボダイナミクス, 表面力

(地区研究会) 日本海トライボロジー, 北海道トライボロジー

#### 4. 主な取り組み

各委員会がシームレスな活動を継続し計画的に目標を達成するため、以下に取り組む。

- ・ 65 期（2020 年 4 月）から学生会員の入会金と年会費を無料化し、より多くの学生がトライボロジーに触れることができる機会を提供する。そのために、64 期では規程類の見直しやシステム環境を整備する。
- ・ 会員メリットを明確にするため、トライボロジー会議における講演発表資格を見直し、トライボロジー会議 2020 春東京から一般講演での発表を個人会員（正会員、学生会員、名誉会員）に限定する。そのため、64 期ではシステム環境を整備する。
- ・ 運営委員会に次世代教育 WG を新設し、次世代トライボロジストへのトライボロジー啓発教育、すなわち小中高生向けトライボロジー体験学習の企画、実施、支援に関する活動を開始する。
- ・ 日本トライボロジー学会のホームページ（HP）をより多くの会員や一般の人に見ていただけるように、HP のビジュアル化や機能の追加を行う。
- ・ 学会 HP を利用して個人のスマートフォンで会員資格を表示できるデジタル会員証を作成する。
- ・ 相互補完が可能な事務局体制を構築するため、新規事務局員にはすべての事務局業務を順次担当してもらおうとともに、業務のローテーションを行う。
- ・ 規程類の見直しを適宜行い、最新のガバナンスと整合した状態を維持する。
- ・ コンプライアンス意識の強化を目的とした特別フォーラムをトライボロジー会議 2019 春東京にて開催する。
- ・ 会誌「トライボロジスト」に加え、電子版トライボロジスト誌（J-STAGE に掲載）、英文電子ジャーナル（Tribology Online）を発行する。
- ・ 会誌「トライボロジスト」の技術論文掲載を推進する。
- ・ Tribology Online の校閲業務における国際化をさらに推進する。
- ・ Tribology Online で、ITC Sendai 2019 Special Issue を発行する。
- ・ 書籍出版業務を強化するため、編集・出版委員会を編集委員会と出版委員会に再編する。
- ・ トライボロジーハンドブックの改定に向けて部会を立ち上げ、改定作業に着手する。
- ・ 教育講習の各種講座を再編、入門講座／西日本入門講座の講師と内容を見直すとともに、テーマ別基礎講座とスキルアップ講座をそれぞれ応用講座 設計編、応用講座 実験・計測編に改めて、トライボロジーの実務に対応する上でより効果的な教育プログラムを提供する。
- ・ HP サーバ・アップデート、イベントシステム機能改修、GDPR 法・ePrivacy 規制、学生会員無料化対応などの情報システム改善に集中的に取り組む。
- ・ 学会パンフレットを改定、発行し、会員メリットを広く周知する。
- ・ 会員メリットを明確にするため、移行期間を設けた上で 65 期から会員提案研究会（旧第 3 種研究会）の参加資格を個人会員に限定し、維持会員企業に所属する非会員の参加人数を制限する。
- ・ 64 期から論文賞と TROL 論文賞を一本化する。
- ・ 功績賞再定義部会にて功績賞の再定義（位置づけ、対象、評価軸、選考委員会の構成、選考プロセス等）を行い、その議論を踏まえて再定義の内容と新たな審査基準・方法を決定する。
- ・ 学生会員が在学期間に受賞できるように学生奨励賞の制度の見直しを検討し、2020 年度からの実施を目指して準備を進める。

- ・ トライボロジー会議 2019 春東京では、発表登録のし易さを考慮した分類分けを継続するとともに学術分類をベースに聴講し易いプログラムを構成する。広い企業展示会場に変更することで、展示企業数を増やすとともに集客につながる各種企画を実施し、出典企業の満足度の向上を目指す。運営委員会、増強・広報情報委員会、表彰委員会と協力して、発展性のある大会運営を目指す。
- ・ 国際トライボロジー会議 ITC Sendai 2019 を開催し、国際交流を通じて JAST のプレゼンスを向上する。
- ・ 海外向け活動にも積極的に取り組み、第 10 回日中トライボロジー先端フォーラム（中国・成都）、第 3 回日台トライボロジーシンポジウム（岩手）を開催する。
- ・ 米国 STLE との連携を強化し、ITC Sendai 2019 では若手トライボロジストのシンポジウムを開催する。
- ・ ドイツトライボロジー学会 GfT との連携強化策を検討する。
- ・ 日系海外現地法人で働くエンジニアの技術交流機会の提供を目的に、第 5 回トライボロジー国際技術交流会をタイ・バンコクで開催する。